

ホクレン営農支援情報

(2021年3月号)

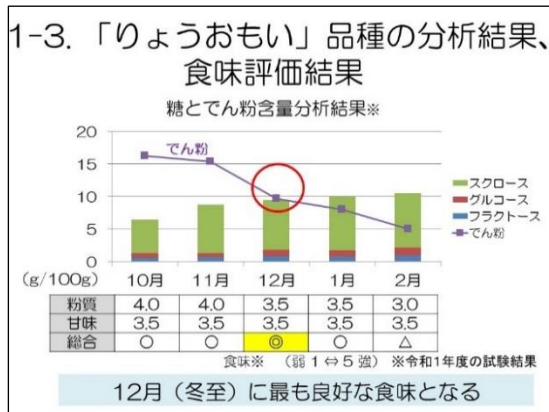
●第4回かぼちゃ研究会（WEB開催）で講演《農業総合研究所》

農業総合研究所では、省力的に管理できる作物の一つとして、北海道内でも導入が期待されているかぼちゃの生産技術や貯蔵、流通の研究に取り組んでいます。

2月8日、かぼちゃの生産振興に向け農研機構 北海道農業研究センターの主催によりWEBで開催された第4回かぼちゃ研究会には、JAや生産者、研究機関、一般企業など全国から約240名が参加し、当研究所の3名が講演しました。

○かぼちゃの栽培技術に関する試験結果《園芸作物開発課 内藤主査》

ホクレンのかぼちゃブランド「りょうおもい」の特徴や、増収を目指した密植栽培試験、開花後日数別の果実品質から収穫適期を把握する試験についての結果を紹介しました。

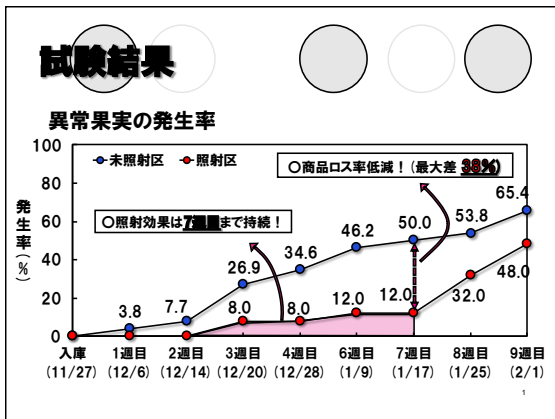


講演時のスライドより(抜粋)



○かぼちゃの貯蔵や流通に関する研究結果《食品流通研究課 印南職員》

収益に大きく影響する、かぼちゃの貯蔵・流通時の腐敗による商品ロス低減に向け、鮮度保持技術「iR フレッシュ」の効果を検証し、果皮の白カビ抑制への効果が期待できること、また、夏場の常温輸送場面での調査から特定された、障害果発生の要因となる温度条件や、輸送時の注意点などについて紹介しました。



講演時のスライドより (抜粋)

輸送時の注意点

発生要因

発生頻度は品温 **45℃** が目安

品温

超えてしまうと... **クリスタル症**

輸送環境

夏場は庫内が **高温** になりやすい

- 庫内温度は外気温よりも **+5℃**
- 気温35℃以上では **内部障害** の危険も増加

輸送時期や気象条件により **輸送機材・条件** を検討

かぼちゃの貯蔵腐敗に関わる糸状菌 《営農技術課 清水職員》

かぼちゃの腐敗部位の菌種を調べたところ、貯蔵腐敗の原因として知られる「つる枯れ病菌」以外にも様々な糸状菌が腐敗を発生させていることが分かり、圃場残渣が伝染源になり得ることから、つる枯病の薬剤防除と合わせ、圃場残渣を残さないことや輪作が貯蔵腐敗軽減に重要なことを紹介しました。

貯蔵腐敗の主な原因は

病名 つる枯病

病原菌 *Didymella bryoniae*

特徴

- 黒色の水浸状病斑、陥没症状
- 発生量は数%~70%以上 (新村 2018)

講演時のスライドより (抜粋)

病原性Fusarium 属菌

F. graminearum *F. avenaceum* *F. culmorum* *F. sporotrichioides* *F. equiseti*

その他の病原性糸状菌

Alternaria sp. *Arthrinium* sp. *Botrytis* sp. *Rhizopus* sp.

それぞれの結果詳細や、お問い合わせなどありましたら、お気軽に当研究所までお願いいたします。

●オホーツク地区農作業安全等に係る研修会開催 《北見支所 営農支援室》

ホクレン北見支所が加わる、オホーツク地区農作業安全推進本部とオホーツク地域 GAP 導入推進会議では、農作業安全や GAP に取り組む際に労務管理で求められること、緊急時の対処方法などを一緒に学ぶことにより、適正な農場管理に役立ててほしいとの目的で、1


月 25 日に北見市内で「令和 2 年度オホーツク地区農作業安全・労務管理・応急救護研修会」を開催しました。研修会では、ホクレン農総研スマート農業推進課の家納調査役も農作業安全に係る WEB による講演を行いました。GAP 団体認証に取り組む生産者はじめ、JA、関係者など 36 名が参加し、知識を深めていました。



4. 農作業事故の防止について

(1) 農作業事故はなぜ起きるのか(要因)

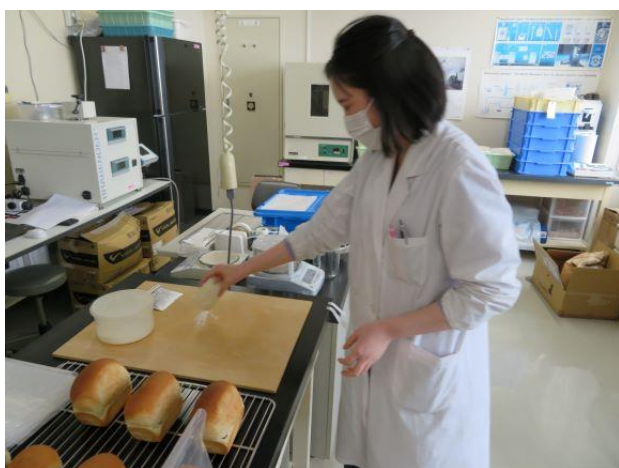
- 機械的原因
 - ① 防護装置・安全カバー等の取除き
 - ② 自己流の改造、不完全な修理
 - ③ 安全装置の取除き・未使用
 - ④ 機械の用途以外の使用
- 不注意
 - ① エンジンを掛け、作業機を揚げ、PTOを廻した状態での修理、点検、掃除、注油等「巻き込まれ等の危険」
 - ② 作業機を固定していない状態での修理、点検(落下の危険)
 - ③ 急な坂道、軟弱な道路・圃場、狭い道路、落差のある圃場への接近、危険場所への接近⇒横転、転落等の危険
 - ④ 急加速、急旋回による不安全な行動
 - ⑤ 機械の能力以上の作業
 - ⑥ 大型作業機を装着して、減速しない状態で公道から細い道路への進入、および進行方向の変更
 - 直送作業機⇒前輪荷重の減少により充分な操作が不能
 - 牽引作業機⇒傾斜地で作業機の後押しによる制動距離の延長



農作業安全の講演スライドより(抜粋)

● 春播き小麦や馬鈴しょ育成系統の品質評価試験実施 《畑作物水稻開発課》

畑作物水稻開発課では春播き小麦や馬鈴しょの品種開発に取り組んでいますが、圃場が雪に覆われる冬場は室内で品質評価試験を行っています。春播き小麦はパンの生地や焼いたパンの品質、また、馬鈴しょは加熱調理したものを評価し、品種開発に生かしています。引き続き、育成系統の評価を進め、より良い品種をいち早く生産者の皆さんにお届けできるよう取り組んでいきます。



● 農作業安全について考える時のツール 《営農支援推進課》

もうすぐ本格的な春作業が始まります。忙しくなると安全への意識などおろそかになりがちですが、農作業事故が起きると、その状況によっては経営にも大きく影響します。忙しい時期を迎える前に、農作業安全について今一度考えてみてはいかがでしょうか。2018年8月に発行したアグリレポート14号特集では「リスクと闘う」として、事故を防ぐ環境づくりや意識づけなどについて紹介しています。参考にしてみてください。

バックナンバー アグリレポート14号

特集「リスクと闘う」

- 農業はリスクと隣り合わせの仕事です
- 作業現場での事故を減らして生産性を高める！
- パートさんに安全に働いてもらうために
- アシストスーツで身体を守る！



https://www.hokuren.or.jp/ko_uho/ap/backnumber/14.pdf#page=4



内容についてのお問い合わせは **ホクレン岩見沢支所営農支援室** まで

Tel. 0126-35-1302 E-mail. 06einousien@hokuren.jp

発行： **ホクレン農業総合研究所 営農支援センター 営農支援推進課**

Tel. 011-788-5467 E-mail. einousiensuisin@hokuren.jp